

研究課題番号	4-2005
研究課題名	SFTS に代表される人獣共通感染症対策における生態学的アプローチ
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所
研究代表者名	岡部 貴美子

1. 委員の指摘及び提言概要

有害鳥獣が増えている現状において、今後に向けて極めて有用な成果が出ている。アライグマとの関係があらたに明らかになってきており、順調に進んでいる。人獣共通感染症に対する脅威が増す中で、有効な学際的研究アプローチが構築されることを期待する。このような新たな感染症の例を Public に知らせていくことが重要になる。さらなる研究が期待されるとともに、環境省との連携を通じて知見の普及と啓発（警報）が重要。今後の新規の同様の感染症についても、早い段階で対処できるようなノウハウを蓄積していただきたい。

2. 採点結果

評価ランク：A